



## 》05 株式会社パルオオクボ

令和3年11月認定



**所在**  
埼玉県飯能市仲町2-6

**主な業務内容**  
メガネ・補聴器・コンタクト販売店

**従業員**  
5人

**設立年月**  
1948年4月

**地震リスク** 震度6弱

**水害リスク** 土砂災害の被害

**概要** 御社の概要を教えてください。

創業80周年の地域密着型のメガネ・補聴器・コンタクト販売店として、高齢者の比率の高い埼玉県飯能市に店舗を構え、生活のクオリティを上げる重要な役割を担っています。

全国チェーン展開のフレンドショップとして共同仕入れを行い、良質な品を良価格で販売しています。顧客・従業員共に飯能市在住者が多く、地域の経済・雇用を支えています。

**きっかけ** 事業継続力強化計画を策定したきっかけを教えてください。

地域住民への生活必需品を扱っているため、自然災害発生時にも出来る限り早期復旧を計り、住生活への影響を極力低減する必要性を強く認識していたため、今回策定に取り組み、認定申請も行いました。



**苦労** 計画策定で苦労した事と、その解決策を教えてください。

自然災害による被害は、なかなか想定しづらい内容ではありますが、ハザードマップ等で地勢的にも確認をし、それに伴う被害状況を、人員・設備・資金・情報についてそれぞれ想定することにより、具体的な予防策、災害時の事業継続策等が、少しずつ明らかになり、計画策定が具体的に進んで行きました。

**社内外の変化** 事業継続力強化計画を策定したことで、社内外で変化したことを教えてください。

計画を従業員に説明・徹底することにより、従業員の危機意識の喚起にも結び付き、少しずつ具体的な対策提案がされるようになってきました。

また顧客への接客時に災害が発生しても、落ち着いて対応できるよう事前準備（予防策）への取組みも進んでいます。

メガネレンズ等の調達面についても、取引先と自然災害対策の情報共有を行い、連携して商品供給の継続ができるような対策が考えられてきています。

**進捗** 策定した事業継続力強化計画の進捗を教えてください。

安否確認の手段として、LINE連絡網を平時より有効活用し災害時に備えるよう取り組んでいます。

仕入先・供給先の担当者と、共有する情報内容等をリストアップして、速やかで効率的な連絡体制を構築しました。

**感想** 事業継続力強化計画を策定した感想を教えてください。

人員・設備・資金・情報毎の被害想定、予防策、初動対応、災害時の事業継続策等について、それぞれ計画の策定ができて、平時の業務改善にも繋がり、徐々に意識改善が進んでいます。

**感想** 計画の策定を他の事業所にも勧めるとしたら

災害等の非常事態に対する意識が変わり、災害対策で重要な「予防策」についても、時系列的な観点も含め、取り組みが進んでいます。

更に、これまでに対策を講じてきた実態を整理分類してみても、過不足分を補填するような計画策定にも繋がりますので、まずは現状の危機管理対策の確認より取り組むことをお勧めします。

**感想** 紹介者からの一言（飯能商工会議所）

（例）パルオオクボ様より災害対策に向けての計画策定として事業継続力強化計画の情報を知り、是非策定をしたいという旨を伺いました。

その時に、埼玉県産業振興公社より本計画の認定にあたっての支援制度を伺っていたため、これは渡りに船であったと感じられます。

支援内容は3回でオンラインでの打ち合わせでありましたがストレスも無く、スムーズに計画の策定ができました。申請は電子申請にて行いましたが、こちらは当商工会議所と共に支援を行い申請、その後2日程度で認定が下りたことも驚きました。